



大軍拡 物価高騰から

平和とくらしを守る区政を！

2370億円の

積立基金を活用し 給食費の無償化ただちに

物価の高騰が激しく区民生活を襲う中、岸田政権は戦争準備に突き進んでいます。日本共産党区議団は、最も身近な区政こそ、区民のくらしと平和を守る防波堤の役割を果たすべきと、予算議会を通じ、子育て・教育、高齢者福祉、災害・まちづくり対策など、区民の願いをふまえて全力で奮闘しました。

10年間で2.2倍。23区で最高額に。 積立基金は、今こそくらしに！

江戸川区の積立基金は、2013年度末の約1080億円から22年度末の約2370億円へ、10年間で約2.2倍も増やしてきました。今では23区一番です。借金(区債)も2億円で、全国1、2位を争う超健全財政です。

しかし、積立基金が増えるのと反比例するかのようには、江戸川区の人口は、2020年の約70万人をピークに、23年には約68万7000人に減り、直近では23区一の

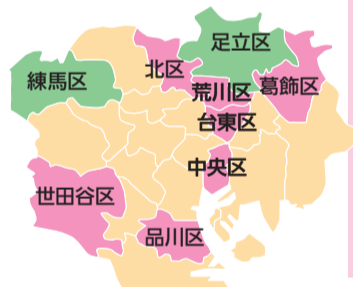
人口減少区となっています。特に子育て世代の20代、30代の女性の人口減少が大きな特徴です。区に転入する人口より、転出する人口が多いからです。

日本共産党区議団は、積立基金は区民の財産であり、物価高騰でくらしが困難に陥っている今こそ、区民のくらしを支えるために活用すべきと主張しました。しかし、自民党・公明党などは、積立をさらに増やせと区に迫っています。

学校給食費無償化の実施を！

コロナ禍の中、教育費や凄まじい物価高騰など子育て世代の経済的負担が大変です。4月から、葛飾区をはじめ7区が完全実施、2区が一部の学校給食費無償化をすすめます。江東区も年度途中の実施を表明。学校給食費無償化の要望に、区は「国がやるべきこと。年22億円の負担が持続可能かどうか。区民基礎調査などの実施後に検討する」としました。実施区は「子どもたちの成長を社会全体で支援して、所得によらず給食費を無償化し、子育て家庭の負担

を減らす」としています。区議団は、江戸川区もすぐに実現すべきと、給食費無償化を盛り込んだ予算修正案や、完全無償化の「小学校・中学校給食費の助成に関する条例」(案)も議会に提出しました。



4月から給食費無償化する自治体
(足立区は中学のみ・練馬区は第2子以降)

区立総合レクリエーション公園など 住民意見軽視、民間事業者優先

Park-PFI 整備

総合レクリエーション公園と新左近川親水公園のリニューアル整備事業が、Park-PFI方式で進められています。同方式は、整備だけでなく、今後20年の公園管理等まで民間事業者委ねるものです。

今議会では、関連する計55億円の契約議案等が提案され、その中には、事前の区民意見募集などで賛否が分かっているスケボーパークの設置も含まれていました。区は「住民の意見を重く受け止める」とする一方、課題については「決定した後で意見を聞く」と修正等を拒否。共産党以外の大半の会派が同議案に賛成しましたが、区民の関心が高い樹木伐採の規模なども全く示されておらず、民間事業者とのスケジュールを優先し、住民合意を後回しにする姿勢は重大です。



スケボーパーク予定地

大軍拡に反対し 平和のために 原爆資料の展示施設を！



旧江戸川区役所文書庫

今議会では、岸田政権が強行する「敵基地攻撃能力の保有」や「軍事費増」などの戦争国家づくりに反対し、ASEAN(東南アジア諸国連合)が進める、対話と外交による平和政策を求めるよう区長に質問。同時に、江戸川区原爆被害者の会「親江会」が、被爆の体験を語り継ぐ「語り部」として切実に求めている、原爆資料の展示施設の開設を提案しました。

区長は、「安全保障、防衛政策は国の担当で答える立場にはない」と答弁。原爆資料施設は、小松川さくらホールの隣の東京大空襲で焼け残った旧文書庫を活用できるか調査し、「親江会」など関係者とも相談して進めたいと答えました。

感震ブレーカー普及に 区の支援を!

都が2023年度予算で、感震ブレーカーを木造密集地域の世帯を対象に、無償で配布する予算を計上しました。感震ブレーカーは、地震等の災害による停電後の電気復旧時に発生する「通電火災」を防ぐために有効な手段です。

都の対象とならない世帯に、区独自に配布することや設置工事等について地元の業者と連携して取り組むなど、仕事起こしにつなげるよう提案しました。

国のスーパー堤防は、気候変動による水害の激甚化のスピードに対応できません。住民負担のない堤防強化など、見通しがあり、気候危機の時代に見合った対策への転換こそ急務です。



事業が進められている篠崎公園地区

完成まで1400年?

江戸川区スーパー堤防 整備方針の検証も否定

区が区画整理などと一体に推進する国の高規格堤防事業。基本形状(「越水しても壊れない」)が完成した区間は、江戸川沿いで計画の3・1%、荒川沿いでは1・4%に過ぎません。国も全区間の完成時期を示せず、このままでは、江戸川で650年、荒川で1400年かかる計算に。見通しがないことは明らかです。

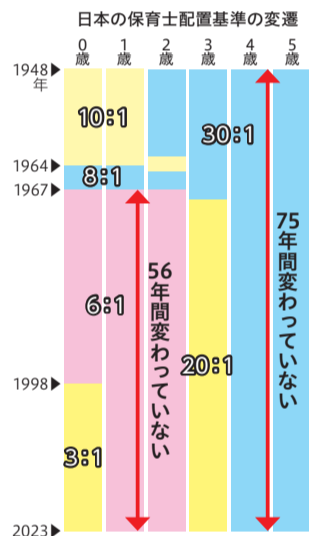
今議会でも、区は策定(2006年)から16年が経過した「江戸川区スーパー堤防整備方針」(区内の江戸川・荒川沿いの全てを高規格堤防化)について、その検証すら否定しました。

安心して預けられる保育園に!

保育園の不適切保育は本来あってはならないことですが、3月には、区内の私立保育園のケースが報道されました。その背景には、厳しい労働環境や保育士不足、低賃金の実態があります。保育士配置基準を、1～3歳までは56年間、4・5歳児は75年間低いまま改善しない国の責任は重大です。

区は「全国市長会を通じて見直しを要望している」と答弁しているものの、区立保育園でも正規職員や臨時職員が不足する実態がありました。

子どもたちの命を守り育くむ保育現場の職員不足の改善は喫緊の課題です。



2023年度予算に反対し 学校給食費無償化など予算修正案を提案

区予算は、特養ホーム増設や太陽光パネル・蓄電池の設置補助などはあるものの、2370億円の積立基金を温存し、区民の要望に応えず、国保料の大幅値上げ(昨年の値上げ幅の2倍)など区民生活の負担を強いるもので反対しました。

予算修正案は、住民犠牲を伴うスーパー堤防と一体の区画整理事業約3.1億円を減額し、学校給食費無償化約21.8億円を加え、全体で約18.7億円の増額です。この修正案に対し、自民党は反対し、給食費無償化を主張する公明党も反対、江戸川クラブなど3会派も賛成しませんでした。

コロナ対策継続を

専門家から「時期尚早ではないか」の意見があるにも関わらず、国は経済優先で、感染力が高い新型コロナウイルス感染症の位置づけを、5月8日に2類からインフルエンザなどと同じ5類に引き下げます。ウイルスの性質は変わらず、対策を緩めて良いとは言えません。

診療報酬が引き下げられ、ワクチンもいずれ有料にならないか心配はつきません。医療機関への支援や、区民が必要な時に医療にかかれること、無料PCR検査の継続を要望しました。また、類型変更で区民への影響を分かりやすく知らせることを求めました。区は相談コールセンターは継続し、お知らせは全戸配布すると回答しました。

英語スピーキングテスト 結果の都立高入試 導入中止を

都立高校入試に英語のスピーキングテストの成績が導入され、受験生の負担が増えました。都教委がベネッセコーポレーションに丸投げして実施したテストは、他の受験者の回答音声がかこえたなど当日の問題が指摘されました。採点ミスも8件報告され、採点方法や公平性に問題があり中止すべきです。「問題点は伝えるが中止は求めない」という区教委の態度は重大です。

強引な議員定数削減 は中止を

議会改革検討委員会での実質審議は累計約1時間程度。論議が不十分なまま、自民党と公明党で、議員44名を42名にする削減条例を提案し決定(2027年の4月改選時から実施)。多数で押し切るやり方に強く抗議し、中止を求めました。江戸川区の人口比率議員数は23区で2番目に少なく、区民の声を反映させる議員を減らすことは、民主主義をないがしろにするものです。

日本共産党江戸川区議団

法律相談

各区議事務所・区議団控室では
常時生活相談を受け付けています。
☎03-5662-5113 (控室)

区議団ホームページに2019年度～2021年度政務活動費の領収書を掲載しました。一部、数字がうすい領収書がありますが、今後改善していきます。



セバタ 勇 区議地域

●連絡先 ☎03-3637-4050
●場所/セバタ事務所
法律相談 ●4月26日(水)・5月18日(木)
受付:午後6時半～8時

FBは瀬端勇で検索を



小俣 のり子 区議地域

●連絡先 ☎03-3655-4422
●場所/小俣事務所
法律相談 ●4月12日(水)・5月10日(水)
受付:午後6時半～8時

FBは小俣のり子で検索を



大橋 みえ子 区議地域

●連絡先 ☎03-5674-3753
●場所/大橋事務所
法律相談 ●4月5日(水)・5月10日(水)
受付:午後6時半～8時

FBは大橋みえ子で検索を



牧野 けんじ 区議地域

●連絡先 ☎03-5662-5113
●場所/牧野事務所
法律相談 ●4月26日(水)・5月24日(水)
受付:午後2時～4時

ツイッター@kenji_makino FBは牧野けんじで検索を